

診療情報を利用した臨床研究について

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 腫瘍内科では、以下の臨床研究を実施しております。この案内をお読みにになり、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分（家族）の情報を利用・提供してほしくない」とお思いになられましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

情報の使用についてご了承いただけない場合でも、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合など、研究データからあなたの情報を削除出来ない場合もございますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

➤ 対象

2012年5月1日～2017年3月31日の期間にがん骨転移の治療として、佐世保共済病院でデノスマブ 120mg の皮下投与を受けられた患者さん。

➤ 研究課題名

悪性腫瘍の骨転移症例に対するデノスマブ投与による非定型大腿骨骨折に関する後方視的研究

➤ 研究責任者

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 腫瘍内科 井口 東郎

➤ 研究目的

悪性腫瘍の骨転移症例に対するデノスマブ投与による非定型大腿骨骨折発生頻度を後方視的に検討する。

➤ 利用する診療情報

【患者背景】年齢、性別、骨折の頻度

【腫瘍情報】原発部位

【検査情報】レントゲン、CT等の各種画像検査、手術・生検病理所見に関するデータ

【治療情報】デノスマブ使用状況、ビスホスホネート製剤の使用歴、がんに対する治療ステロイド剤の使用歴、プロトンポンプ阻害薬の使用歴

➤ **研究期間**

2017年9月～2018年12月31日（予定）

➤ **個人情報の取扱**

名前、住所などの個人を特定できる情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別出来ないように番号等に置き換えて研究します。また学会や学術雑誌などで公表する際にも、個人が特定できないような形で使用します。本研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後は、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

➤ **単独／共同研究**

九州大学大学院 臨床・腫瘍外科との共同研究

➤ **診療情報の院外提供**

本研究では九州大学大学院 臨床・腫瘍外科への情報提供があります。

➤ **資料の閲覧**

本研究の対象者のうち希望される方は、研究方法の詳細に関する資料を閲覧することが出来ます。ただし、個人情報、知的財産権の保護などに支障がない範囲に限られます。

➤ **相談窓口**

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 腫瘍内科 井口 東郎
電話番号：0956-22-5136（代表）